



学校だより No.5

響き合う

令和2年5月22日
大村市立放虎原小学校
文責 香田 公裕

新たな日常を創る！(学校再開1週間)

18日から学校が再開され、1週間がたちました。子どもたちがいる当たり前の日常が、とても大切な時間と感じます。子どもたちも友達や先生との時間を、精一杯楽しんでいます。笑顔や笑い声、真剣な表情・・・時には、悲しい顔や困った顔、怒った声なども聞かれますが、帰りにはほとんどの子どもが、笑顔で帰ってくれているようです。ただ、長い休校でしたので、集中力や体力が、追いつかない子どももいます。励ましながら、元に戻していきたいと思います。ご家庭でも、早寝・早起き・朝ご飯を是非お願いします。

以前からお伝えしているように、学校では健康観察・検温(忘れた子ども)手洗い・うがい、手や机イス等の消毒、換気などを徹底して行っています。どの子も、手洗いが上手になってきたな～と感じます。それぞれに感染予防を意識していることを嬉しく思います。学習時間においても、できる限り机間の間隔を開け、マスク着用で授業を行って



います。まだグループ学習等の話し合い活動は控えていますが、先生の問いかけに積極的に挙手して発表する姿も戻ってきています。1学期は、未履修を出さないことを第一に考え、授業を進めていきます。学習の進度が落ち着いたあたりで、繰り返し学習をするなどして、学力向上に向かっていきたいと考えています。



その間、学習の機会の確保はとても大切なので、是非、家庭学習についても引き続き声かけ励ましをお願いします。

学校では、これまでも3密になる場面が多々ありました。顔をつきあわせて話し合ったり、手をつないでふれあったりすることは、教育の大切な行為

でもありました。しかし、その行動様式(日常)を変えていく必要性にも迫られています。3密を防ぐことにより、子どもたちの健康・安全を確保することがまず大切なのです。

右の写真は、密集・密接を防ぐために、間隔をとって整列しています。



(視力・聴力検査)



(給食の配膳)

「学校におけるソーシャルディスタンス」を意識させたいと思っています。

一方で、体育や昼休みの時間に、走り回ったりするときには、マスクは、外させています。時と場に応じた感染拡大防止対策をとりながら、子どもたちと新たな日常を創っていききたいと思います。



放小の宝(やさしさ かしこさ たくましさ)

休校中の出来事です。来週から学校再開が決まり、その準備をしている時のことです。体育主任の寺井教諭が、バスケットボールコートに設置されていた「使用禁止」の看板を撤去していた時、突然、大粒の雨が勢いよく降ってきました。ずぶ濡れになっている先生の姿を目にした6年生の男子(通学利用で学校に来ていた子ども)が、すぐさまそこにあった傘を広げ、先生の元に走って行ってくれました。優しい心と素早い判断・行動力に感心しました。

また、再開初日は、あいにくの雨でした。傘を忘れた3年生男子がいました。すると、近くを歩いていた6年生女子が、自分の傘に入れてあげていました。男女関係なく優しくできるすてきな6年生です。

